

選挙権年齢の引き下げに伴い、若者の選挙や政治、市政への関心を高めることを目的として、11月2日に高校生議会を開催しました。盛岡市立高校、盛岡第二高校、盛岡第三高校の生徒総勢31人が高校生議員として参加しました。

盛岡市の未来を語る

11月9日に盛岡大学、11月10日に岩手大学、11月17日に岩手県立大学で「もりおかmiraiおでかけミーティング」(通称「もりmirai」)を開催し、ワールドカフェ方式で大学生と意見交換を行いました。



高校生議会 ～共通テーマ～ 住み続けたくなるまち 盛岡市を目指して

もりおかmiraiおでかけミーティング ～テーマ～ 盛岡市の20年後の未来

進め方
藤澤悠生議長の開会宣言により高校生議会を開会し、共通テーマを議題とすることに決め、4つの委員会へ付託しました。各委員会では、高校生議員が共通テーマを委員会の個別テーマに基づき視点から議論し、委員会としての意見を取りまとめました。各委員会での協議が終わると議場に戻り、各委員長が委員会での議論の経過と、委員会としての提言を報告しました。各委員長から報告があった提言を共通テーマの提言とすることについて本会議で採決し、高校生議員全員の賛成により可決しました。

ワールドカフェとは
世界旅行のようにテーブルを移動し、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数のグループで話し合いを行います。一定時間で席替えし、グループメンバーを変えることで参加者全員と話し合っているような効果が得られる、意見交換の手法です。

高校生議員の提言

中心市街地整備委員会

- ・市政が生活の一部となるように、内丸地区に商業施設や多目的施設を整備すること
- ・道路や公衆トイレなどを改良し、明るくきれいな街にすること
- ・幅広い世代がまちづくりに意見を出すことができ、その意見が反映されたことが分かりやすい市政を目指すこと
- ・市ホームページを改善すること



アフターコロナ委員会

- ・授業時にICT機器のさらなる活用を進めること
- ・オンラインの活用によりさまざまな経済的負担を減らすこと
- ・多くの人が楽しめるオンラインイベントの開催などをすること
- ・医師の県外流出を防ぎ、地域に医師を派遣できる体制にすること
- ・マスクを外しやすい環境づくりをすること



持続可能な地域づくり委員会

- ・障がい者を雇用した企業を市が宣伝すること
- ・郊外と市街地との交通アクセスの改善とバスや電車などのキャッシュレス化を推進すること
- ・子育てに男性が参加しやすい環境をつくること



防災まちづくり委員会

- ・市民が避難所についての知識、イメージを得られるよう情報を発信すること
- ・避難所では災害弱者のプライバシーが守られるようにすること
- ・避難所にマンホールトイレを設置するなど、トイレの待ち時間を減らす工夫をすること



議長・委員長のつばやき



自分が漠然と感じていることを身近なものに捉え、それを言葉にして伝えることの訓練として良い機会でした。今後、盛岡がどんどん進化していく中で、今回の話し合いを思い出し、折に触れて広く発信していきたいと思えます。

議長 藤澤 悠生さん



市議会に怖い感じを抱いていましたが、議員さんが優しく接してくれて熱い志も知り認識が変わりました。中学から自治体経営に関するプロジェクトに参加してきましたが、リアルな現場を経験でき今後の活動に生かしたいです。

中心市街地整備委員長 高橋 優祈さん

議会には当初怖い印象を持っていましたが、議員さんが優しく接してくれてイメージが変わりました。今後の新型コロナとの向き合い方について皆で議論して、提言をまとめることができ、貴重な経験になり、達成感を感じました。

アフターコロナ委員長 米澤 璃人さん

議員の雰囲気はとても堅苦しいと予想していましたが、実際は笑いもあり、柔らかい雰囲気でも議論ができて楽しかったです。今後はニュースをみる時に、「男性の育休」などがどのように改善されていくかをチェックしたいです。

持続可能な地域づくり委員長 伊藤 瑞生さん

大人に意見を伝える機会はあまりないので、緊張しました。今回参加して、高校生らしい意見を伝えることはとても大切で、社会にも貢献できると感じました。災害の時は自分だけではなく、ほかの人も守れるように行動したいです。

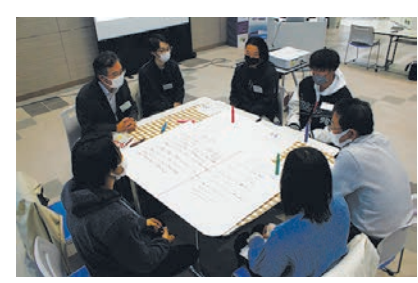
防災まちづくり委員長 川村 あんなさん

11月9日 盛岡大学



参加者からの声

- ・若者のコミュニティスペースを作りたい。(学生)
- ・20年後も盛岡の文化的なものが残っていてほしい。(学生)
- ・若者が安心して盛岡で暮らしていくためには、雇用創出や待遇の改善を図る施策が重要であると感じた。(議員)



11月10日 岩手大学



参加者からの声

- ・いろいろな人と意見を交わして交流できる場所を増やしたい。(学生)
- ・まずは自分が盛岡の良さやいろいろなことを知り、それを周りに伝えていくことで、考える輪を広げようという役割を担いたい。(学生)
- ・産業の育成から多様な働く場の創設を。(議員)



11月17日 岩手県立大学



参加者からの声

- ・自分自身で市政を知ろうとする努力が必要と感じた。(学生)
- ・議員が盛岡市をより良くするために懸命に活動していることが分かり、感動した。(学生)
- ・新しいことへの情熱の大切さを改めて思い出した。(議員)



議員と語ってみてどうでしたか？

選挙啓発活動などに携わっていて、政治に関心があり議員と話してみたいと思いつきました。3大学合同で開催すれば他大学の学生の思いも聞くことができ面白いのではないかと感じました。	社会学ゼミ所属で政治に関心があり議員と話してみたいと思いつきました。3大学合同で開催すれば他大学の学生の思いも聞くことができ面白いのではないかと感じました。	今後の進路を考えるなかで、市政について学ぶ機会になればと思いつきました。議員と話してみ、私たちの盛岡に対する思いを全て受け入れてくれて話しやすかったです。	データを基に冷静かつ俯瞰的に物事を見ることが大事だと考えていましたが、今回議員と話をして熱い思いを強く感じ、互いに補いあうことが大事だと感じました。	今回参加して、議員も自分たち若者と関わりたいと思っていることを知り、イメージが変わりました。若い世代と議員と一緒に何かをやるこのようなイベントはいいと思います。	議員は自分にはない視点で物事を考えていることが分かり、参加して良かったです。また、議員は年配の人が大多数と聞いていましたが、若い人もいたことに驚きました。
仁藤 愛華さん	伊藤 和さん	玉木 桃香さん 原 乙葉さん	内藤 剛汰さん	佐々木 菜菜さん	小田島 和希さん